

MITSUBISHI

0207871HM1703

三菱換気空清機 **クロスナイ** 壁埋込30cm角穴取付ロスナイ

形名

<格子タイプ>

VL-200KA₂ (-BE) (-D,J,W)
(雑ガスセンサー付自動運転タイプ、急速排気付タイプ)

VL-200RK₂ (-BE) (-D,J,W)
(ワイヤレスリモコンタイプ、急速排気付タイプ)

VL-200EK₂ (-BE) (-D,J,W)
(壁スイッチタイプ、急速排気付タイプ)

VL-100K₂ (-BE) (-D,J,W)
(引きひもタイプ、ロスナイ換気タイプ)

VL-100EK₂ (-D,J,W)
(壁スイッチタイプ、ロスナイ換気タイプ)

寒冷地仕様品 : 形名に“-D”がついています
準寒冷地仕様品 : 形名に“-J”がついています
温暖地仕様品 : 形名に“-W”がついています

<ナチュラルインテリアタイプ>

VL-100EKX₂ (-D,J,W)
(壁スイッチタイプ、ロスナイ換気タイプ)

VL-100PKAX
(雑ガスセンサー付自動運転タイプ、寒冷地仕様)

VL-100RPKX
(ワイヤレスリモコンタイプ、寒冷地仕様)

VL-100PKX
(引きひもタイプ、寒冷地仕様)

取付工事説明書 販売店・工事店さま用

- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この取付工事説明書を必ずお読みください。
- 取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。
- お客さまご自身での工事は、故障や事故の原因になります。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。






安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。



警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

警告

	雑ガスセンサー付自動運転タイプは計量法に基づく計測器ではありません。酸欠防止や可燃性ガスなどの検知装置として使用しない 室内が酸欠状態になったり、火災の原因
	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因
	浴室など湿気の多いところには本体・壁スイッチとも取付けない 感電・漏電の原因
	交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると感電の原因
	外気の取り入れ口は、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因
	本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがの原因
	端子台接続部のある機種は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災の原因
	配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店（電気工事士）が安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因

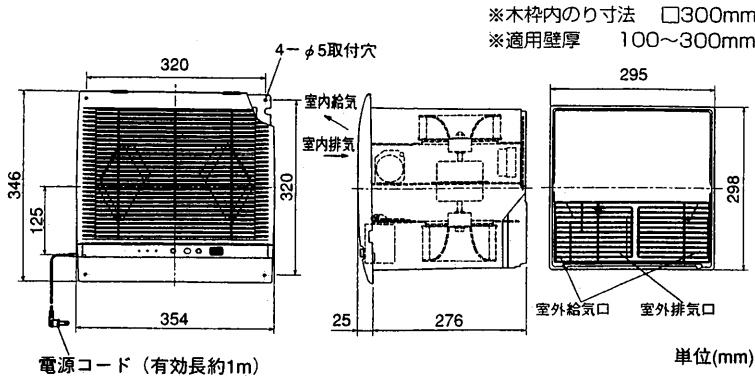
注意

	壁取付専用です。天井には取付けない
	落下によりけがの原因
	高温や直接炎があたったり、油煙の多い場所には取付けない 火災の原因
	端子カバーは工事後必ず取付ける ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因
	取付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因
	雨水のかかる所へ取付ける場合は、専用のシステム部材のウエザーカバーを取付ける 雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因

外形寸法図

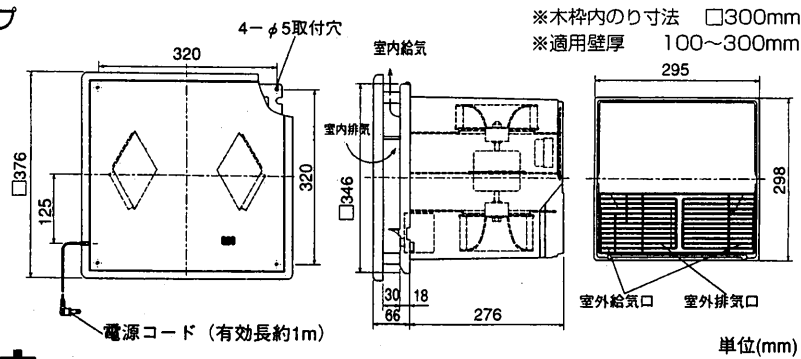
格子タイプ

- VL-200KA₂ タイプ
- VL-200RK₂ タイプ
- VL-200EK₂ タイプ
- VL-100K₂ タイプ
- VL-100EK₂ タイプ



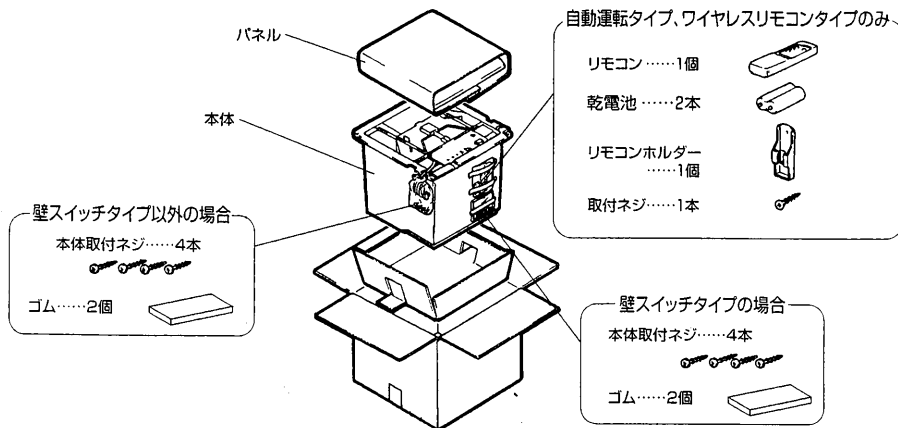
ナチュラルインテリアタイプ

- VL-100EKX₂ タイプ
- VL-100PKAX
- VL-100RPKX
- VL-100PKX



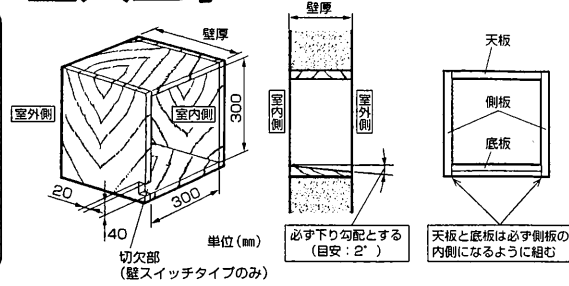
取付方法

開梱



壁穴工事

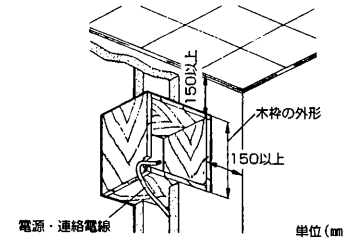
1



木枠の用意

- 木枠を作る場合は、左図の寸法で作る
- 内寸□300mm
- 適用壁厚 100～300mm
(使用するウェザーカバーにより適用壁厚が異なりますのでウェザーカバーの適用壁厚に従ってください)
- 板厚 20mm以上
- 室外側へ下り勾配 (雨水浸入防止)

2



壁穴開け・木枠の固定

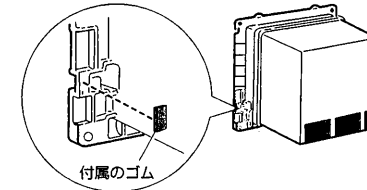
1. 木枠の外形寸法で壁穴を開ける
 - 天井、壁から150mm以上離す。
(パネルが取付けられません)
2. 木枠を固定する
《壁スイッチタイプの場合》
●切欠部から電源・連絡電線を引き出す。

お願い

- 冷暖房機の風が直接あたらない位置に取付けてください。

取付の前に

1



《本体を取付ける時に壁紙が貼付けてない場合》

付属ゴムの貼付

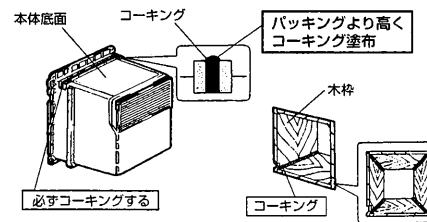
1. 左図の位置に付属のゴムを左右2か所に貼付けてください。
(本体取付時に壁紙が貼付けてある場合は不要です)

ⓂⓂ情報

- このゴムはパネルを本体へ確実に取付けるために使用します。

本体の取付け

1



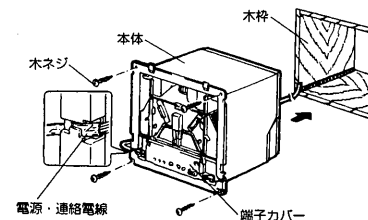
コーキングの塗布

- ① 本体底面
- ② 木枠内側コーナー (4か所)

お願い

- コーキングを行わないと雨水が浸入します。

2



本体の取付け

1. コーキングした面を下側にして取付ける
2. 木ネジ(4本)で確実に固定する

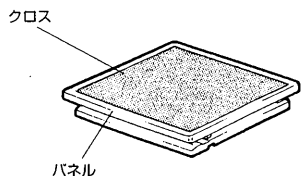
《壁スイッチタイプの場合》

- 電源・連絡電線を本体側面に通し、端子カバーまで引き出す。

取付方法

つづき

インテリアに合わせたクロスの貼りかた



壁クロスをパネル前面部に直接貼付けることができます

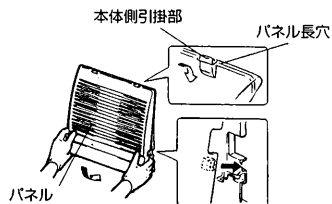
お願い

- のりは水溶性のものを使用してください。(油性は変形します)
- はみ出したのりは拭き取ってください。(変色します)
- クロスを側面へ巻き込まないでください。(風路がふさがれます)

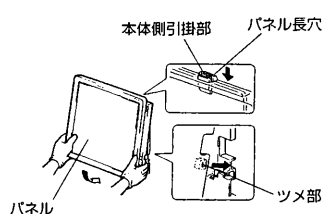
パネルの取付け・取りはずし

取付け

《格子タイプ》



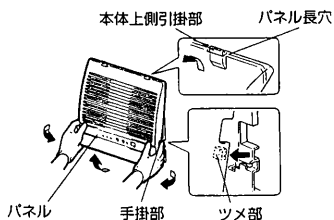
《ナチュラルインテリアタイプ》



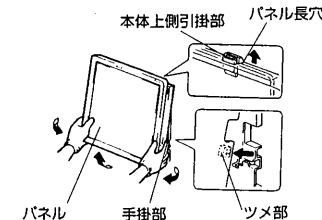
1. 本体側引掛部にパネル長穴をはめ込む。
2. パネルの下部を押す。

取りはずし

《格子タイプ》



《ナチュラルインテリアタイプ》



1. パネル両側の手掛部に指を掛けパネルを押し広げ、本体両側のツメ部をはずす。
2. パネルを上を持ち上げながら本体上側の引掛部からはずす。

室外側工事

専用のシステム部材のウエザーカバーを取付けてください。

(専用のウエザーカバー以外のご使用は十分な換気ができなくなります) 取付け寸法はウエザーカバーに付属の取付け工事説明書を参照してください。

お願い

- 寒冷地仕様の製品には、必ず専用のシステム部材の寒冷地用ウエザーカバー(P-200K-CVK)を取付けてください。

電気工事

警告

- 交流100Vを使用する
(直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)
- 端子台接続部のある機種は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する(接続に不備があると火災の恐れがあります)
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店(電気工士)が安全・確実に行う(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

壁スイッチタイプの場合

- 電源の接続、配線工事などは、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。
- 運転にはコントロールスイッチが必要です。システム部材のコントロールスイッチを用意してください。

- コントロールスイッチの取付けはコントロールスイッチに同梱の取付説明書に従ってください。

1

コネクタリードを取りはずす

1. ネジ3本をはずして、端子カバーをはずす。
2. 端子台のレバーを押して、コネクタリードを取りはずす。

●工場出荷時、本体検査用コネクタリードが端子台に接続されています。(はずしたコネクタリードは使用しません)

2

結線図……100V専用(誤結線注意)

結線をする

結線図のとおりに結線をする。
(適用電線 VVF単線φ1.6)

お願い

- 他社のスイッチを使用する場合も、必ず結線図に従ってください。(スイッチの渡り線が異なり誤結線となる場合があります)
- 端子台から、電線が抜けないことを確認してください。

複数台運転について

システム部材のコントロールスイッチ(P-1600SWL、P-100SL)1個で同時に複数台運転ができます。

VL-200EK2タイプ	3台まで
VL-100EK2タイプ	5台まで

3

電源・連絡電線を固定する

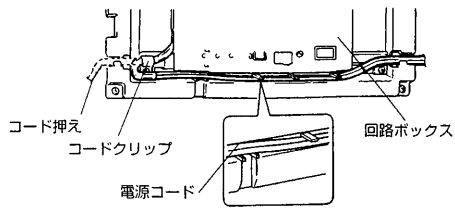
1. 電源・連絡電線をコードクリップで固定する。
●コードクリップのネジを一旦取りはずしコードクリップに電線を通してからはずしたネジで固定してください。
2. 端子カバーを元通りに取付ける。
3. パネルを取付ける。

- 下記の機種は、コントロールスイッチのネームカードを差し換えます。差し換えはコントロールスイッチに同梱の取付説明書に従ってください。

- VL-200EK2タイプ

電気工事 つづき

電源コードをロスナイ本体右側から出す場合



《自動運転タイプ、ワイヤレスリモコンタイプ、引きひもタイプの場合》

1. 左側コード押さえから電源コードをははずす。
●コードクリップは、はずさないでください。
2. 回路ボックスの下に電源コードをはめ込む。
3. 右側コード押さえに電源コードをはさんで出す。

取付工事後の確認と試運転

取付工事後の確認

- 取付工事終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。
(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)

警告

●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店(電気工事事)が安全・確実に行う(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

チェック表

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
取付工事	本体の取付強度は十分ですか？		
	パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを取付け直します	
	コーキングはしましたか？ (本体まわり、木枠、室外側)	コーキングをします (雨水が浸入します)	
	壁スイッチのネームカードを差し換えましたか？ (VL-200EK2タイプのみ)	同梱のネームカードに差し換えます	
	電圧は100Vですか？	100Vに直します (異電圧を印加すると製品が破損します)	
試運転(下記)	(壁スイッチタイプの場合) スイッチの操作と本体動作は合っていますか？	誤結線です 結線図に従って結線を直します (本体は破損しません。電圧チェック表で確認します)	
	(引きひもスイッチタイプの場合) 引きひもを引いて動作を確認しましたか？	引きひものからみなどを直します	
	(自動運転タイプ・ワイヤレスリモコンタイプの場合) 本体の「運転スイッチ」を押して動作を確認しましたか？		
	羽根当たり音がしていませんか？	パネルをはずしてゴミなどを取り除く (見える範囲のみ)	

電圧チェック表

モード	スイッチ操作	端子間電圧		チェック欄
		A-B	OV	
停止	切	A-B	OV	
	急速 (または強)	A-C	OV	
		B-C	OV	
急速「強」運転	入	A-B	100V	
	急速 (または強)	A-C	100V	
		B-C	OV	
ロスナイ「弱」運転	入	A-B	100V	
	ロスナイ (または弱)	A-C	OV	
		B-C	100V	

測定した電圧が左表の端子間電圧と異なる場合は、誤結線されていると考えられます。通電を停止して、結線図に基づき配線を作り直し、再度チェックをしてください。
※端子間電圧は、電源電圧の変動により若干異なる場合があります。

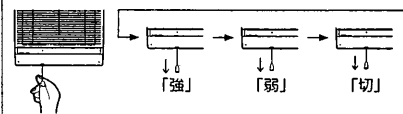
試運転

■できるかぎりお客さま立ち会いで、試運転を行ってください。

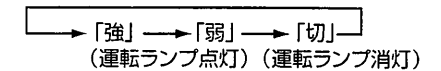
- 1 電源を入れる
1. 分電盤ブレーカーを入れる。
2. 電源プラグをコンセントに差し込む。(電源コード付タイプのみ)

下記の要領で運転状態の確認を行う

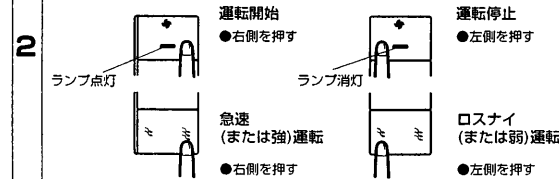
引きひもタイプの場合



引きひもを引き正常に運転するか、確認する



壁スイッチタイプの場合



次の操作をして正常に運転するか確認する

1. 電源スイッチの右側を押して「入」にする
●ロスナイ本体の運転ランプとスイッチのランプが点灯します。
2. 風量切換スイッチを押す
●風量が切換わるのを確認します。
3. 電源スイッチの左側を押して「切」にする
●ロスナイ本体の運転ランプとスイッチのランプが消灯します。

ワイヤレスリモコン・自動運転の場合



「運転スイッチ」を押して正常に運転するか確認する

お願い

●電源プラグをコンセントに差し込んだのち約5分間は、おまかせ運転をすると必ず「強」運転をします。

- 3 異常な振動・騒音がないか確認し、確認後停止する
1. 電源プラグをコンセントから抜く。(自動運転・ワイヤレスリモコン・引きひもタイプ)
2. 分電盤ブレーカーを切る。

お客さまへの説明

- 分電盤ブレーカーとコンセントまたは、壁スイッチの位置をお客さまへ説明してください。
- チェック表の結果をお客さまへお知らせください。
- 「リモコン」、「リモコンホルダー」、「乾電池」をお客さまへお渡しください。
- この「取付工事説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客さまへお渡しください。
- お客さまが不在の場合は、発注者(オーナーなど)または、管理人へ説明してください。